

No. 30

伊丹市文化財ボランティアの会 発行

2006.(H18.) 8. 1

伊丹市千僧 1-1 伊丹市教育委員会事務局内

伊丹市文化財ボランティアの会発足十周年を回顧して

第一期生 柴田 博 (会員 顧問)

「あなたはどのようにこの講座を受けようと思いましたが？」

平成8年4月23日市の教育委員会の講座を受講し、卒業生有志25名で『伊丹市文化財ボランティアの会』を立ち上げた時も、又、順次入会された会員の人も、冒頭文の？が頭をよぎった方もおられたのでは無いでしょうか！

「永く住んでいる伊丹の地元のことをもっとよく知りたい」が、私を含めて多くの方の答えの様です。そして、「何か地域に役立つことはないだろうか」という考えに拡がっていきました。

平成8年の発足以来10年の歩みは、火曜会通信№29で紹介されている通りで、年度毎に必要な行事が、進化し、拡大されてきましたが、その間にも大黒柱の如く脈々と会のIDENTITY(存在価値)が変わらずに引き継がれて来た事は、歴代会員の努力の結果に感謝すると共に誇りに思います。

「みんなで楽しくやろう」をモットーに、勉強会、発表会、講座、見学会、そして童心に還る研修旅行と、お互いの顔を合わせる楽しみを活力として、切磋琢磨してきた一昔が、矢のように過ぎ去った想いの中に溢れてきます。

会の目標である「自己を磨き、市民に還元する」事を再認識して、会の活動を活気付ける若い芽が育っていくことを願っています。

以上 平成18年7月10日

〈幹事担当異動のお知らせ〉

年度途中ですが、幹事会内で以下の担当の異動を行います。7月定例会で紹介・承認されました。

総務	会計	.....	藤本幹事⇒⇒⇒谷光幹事
事業		.....	谷光幹事⇒⇒⇒藤本幹事

ひらかた宿を歩いて

寺谷 守

「ひらかた」と聞いて一番に連想するのは「菊人形」ではないでしょうか、私もその一人です。伊丹市文化財ボランティアの青い旗と帽子がよい目印になったようで、予定の時刻に予定の場所でガイドの皆さんと落ち合うことができました。

〈〈 東海道57次 〉〉

安藤広重の版画や、十返舎一九の東海道膝栗毛などで、東海道53次は誰もがしっています。しかし更に大坂まで延長してその間に伏見・淀・枚方・守口の四宿があった57次については余り知られていないように思います。資料によりますと、天明年間（1781～1789）には、341軒が街道の両側に軒を並べ本陣のほか旅籠は32軒、茶屋7軒、商人や職人は47軒を数えるなど、人口およそ1600人の賑やかな町だったようです。

〈〈 むくの大木 〉〉

枚方市駅から南西の方向に、ゆるやかな坂を上っていくと、高さ21mを超える1本のむくの大樹がそびえています。樹齢600年ともいわれる古木です。葉面がざらざらしているので物を磨くのに用いられたようです。鋳物業を営んでいた旧家のそばに、むくの木が植えられていたのは鋳造した製品を研磨するのに用いるためとされています。こんなに大きく天にそびえている巨木を見ると神々しく感じ、大変印象的でした。

〈〈 鍵屋資料館 〉〉

「ここはどこじゃと船頭衆に問えば、ここは枚方鍵屋浦、鍵屋浦には碇は要らぬ三味や太鼓で船止める」と淀川三十石船歌に唄われた「鍵屋」は天正年間の創業と伝えられ、江戸時代おおいに栄えた船宿です。昼食は400年の歴史のある鍵屋で「くらわんか鮓」と「ごんぼ汁」、地酒は格別の味でした。更にそれを包んでいた竹の皮を「わくわく教室」に再利用するアイデアには感心した次第であります。

あんれまあ、お客さん竹の皮も食わんしゃったかや？  
おったまげたな！ MG

中央公民館文化祭に展示参加

田中 實

去る5月2日～7日の6日間、中央公民館「文化祭」展示部門に参加、伊丹市内の主な文化財を巡る4つの半日モデルコースと、会発足10周年にちなみ「写真で見る10年の歩み」を展示しました。4つの半日モデルコースは8人のプロジェクトメンバーが当会10周年を記念して作成したもので、これを展示用にしました。古きを訪ねて新しきを知る”多くの市民の方々がこのモデルコースを利用して、伊丹の歴史・文化財や自然を再発見していただければ幸いです。

- ① 緑と水と重要文化財コース 約5km約3時間半
  - ② 北西部の文化財散策コース 約3.5km約3時間
  - ③ 行基の足跡を歩くコース 約4km約3時間
  - ④ 南部の古墳コース 約7km 約3時間
- 以上4コースについて簡単なコース案内あり、ご請求下さい。  
また現在中央・東コースを加える作業を進めているところです。





伊丹の歴史・文化 歴史を市民力で

伊丹市文化財ボランティアの会。私たちは、国の指定史跡や文化財と故郷を愛する心を育てる環境づくり活動をしています。

すが、子どもたちは、文化財の大切さを理解していただくので、きちんと教えていく必要があると思います。劣化していく文化財などを修理し、展示したいようにしていただく必要はあります。毎週、数回ほどはいたるところにたくさんあるので、保存・整備や香典が必要だと思います。

市民が交流し歴史・文化・自然環境などの地域資源を学習できる、市外から来られるところに行けばなんでも分かるような施設が中心市街地の花博みまもり地にあると思います。市長、会のみなさんには伊丹の歴史を紙芝居などで伝えていま

歴史・文化のPRをしていただく必要がありそうです。伊丹らしさを発信し、誇りと愛着を持ってもらえるようなまちづくりをしていくため歴史・文化は重要な要素であると思います。また、地域が自立しなくてはならない時代において、都市経済の視点からも、市外の人にも伊丹の良さを知っていただき、行ってみたい、住んでみたいと思うてもらえるようなまちづくりを行うことが重要だと思います。

一方で、少子高齢化の進行など社会経済状況が変化していく中、自治体の財政事情が厳しくなっていく中、会のみなさんが歴史に興味しています。また、これは文化都市の推進

として8月には補完文庫で、作家の田辺聖子さんの展覧会や講演会(いたなホール)をしたり、9月には「全国花の俳句大会」を開催して、市外からも伊丹に来てもらうことを考えています。さらに、現在博物館が歴史資料館としての役割をしていますが、図書棟の移転にありまして、花博公園の跡地をどんな情報発信基地にするかなどみなさんの意見をいただいています。6月10日に開催された「市長と気軽にグループ・トーク」から

期間中の他の主なイベント報告

村重まつり 5/13 (土) 雨の中、テントの下でお客はやや少なめでしたが、ザ・どんぐりがんばりしました。

岡田家ガイド 5/14 (日) 吹田郷土史研40名 前日の雨で順延されたもので人数も半減、到着も遅れ、引率の代表は時間を気にして忙しい案内に・・・これを機に逆訪問をしては・・・ 細川記

市民対象ガイド 5/20 (日) 文学碑を訪ねて 7時小雨、決行決定。集合時土砂、降り決行。参加申込者少ないながら殆どが参加。後、天気徐々に回復。天気にはかなわらないな、たまにはこんなこともあるか。

市長と気軽にグループトーク 6/10 (土) 大鹿交流センター 9名 要望も含め日頃のガイド等を通じて感ずる事を各々話しました。市長はメモを取り1部検討事項はありましたが殆ど現時点での返答をされ有意義な話し合いでした。話し合いの内容は7/1号広報伊丹に掲載されました。

紙面の都合でコピーを右に掲載します。

郷町スタンプラリー 6/18 (日) 市企画課企画、会協力18名、村重パンに走った人、じっくり勉強した人、まあいろいろ、200名以上の参加がありました。

11期生自己紹介・・・その1・・・今回は 多田 照雄 さん です。

私の希望の生涯学習で、健康の維持・頭の老化防止に役立ち、少しでも永く会員としてとどまればと思っている。古文書までは無理としても変体仮名を読めて歌碑が判読でき、各種HPも利用の幅を広げ、史跡めぐりに紹介されているコースを1つでも多く散策、等々欲深い。先ずは苦手な大勢の人前で喋れる様になりガイド活動を克服する問題があるが気持ちが通じ1人でも多くの人に喜んで頂ければ、自分の励みにもなると思って努力している。知っていると伝えるは別で甚だ難しい。同期の皆さんは、年齢差を感じさせず付き合ってもらえる大切な仲間、火曜会の会合・活動で集まるのも楽しいが、その後のお茶や食事での意見交換、聞き漏らし、疑問点の確認も出来る。やっとな貴重な自由時間を手に入れながら活用法を知らなかった私に残された人生の楽しみ方教わりました。「日々是青春、日々是感動、日々是感謝」こんな気持ちで毎日を楽しんで過ごす事を皆さんに感謝です。

## 主な活動記録と今後の行事予定

(極力掲載に努めますが紙面の都合で無理かも・・・)

### 過去の記録

- 4/22 (土) G 橋の内第一第二長寿会 25名
- 5/1 (月) 火曜会通信No.29 発行
- 5/2~5/7 (火~日) 公民館文化祭 (パネル展示)
- 5/13 (土) 村重まつりザ・どんぐり上演
- 5/14 (日) G 吹田郷土史研究会 40名
- 5/17 (水) G 鍼友会 (桜ヶ丘) 8名
- 5/20 (土) 市民対象ガイド文学碑
- 5/20 (土) G 兵庫県青少年育成OB会 11名
- 6/1 (木) G 川西市文化財ガイドの会 17名
- 6/9 (金) G 市子ども会連協 (外国人小学生) 38名
- 6/10 (土) 市長と気軽にグループトーク
- 6/15 (木) G 爽友会 45名
- 6/18 (日) 郷町スタンプラリー
- 6/26 (月) 枚方宿 市外研 (土/日G)
- 6/28 (水) G 但馬生活科学ゼミOB会 40名
- 6/29 (木) 摂陽福祉サロン交流会ザ・どんぐり上演
- 7/1 (土) G 神戸気学会 30名
- 7/22 (土) G 泉州の古文書を読む会 29名

7/23 (日) 親子でチャレンジ ザ・どんぐり上演

8/1 (火) 火曜会通信No.30 発行

### 今後の予定

8/19 (土) ふれあいサロン友遊どんぐり座上演

8/25 (金) わくわく教室どんぐり座上演

8/25 (金) 四葉センターどんぐり座上演

9/4 (月) 寺本ふれあいサロンどんぐり座上演

9/21 (木) G 宝塚遊歩会 19名

9/26 (火) 宝塚小浜宿 市外研修 (木G)

10/13 (金) G 大阪市立小学校 80名

10/14 (土) 十周年タイアップ事業市民対象Gイベント

11/14 (火) 秋のバス研修旅行

定例会 : 毎月 第2火曜日 a m

分科会 : パソコン教室 毎月 第2・4木曜日 p m


古文書を読む会 毎月 第2火曜日 p m

どんぐり座 (ザ・どんぐり 改め) 毎月 第3火曜日 a m

注: 上記曜日は月により変更すること有。

### 当会発足10周年記念事業・・・タイアップ事業

10/14 (土) 雨天翌日、巨木の会とのタイアップ事業が採用されました。当初の計画からは若干縮小をせざるを得ない状況にありますが、自治会・子ども会・地車保存会等地域の応援・協力を得ながら午前中は昆陽池から荒牧バラ公園まで (先日会で決定している推薦4コースの②コース) を散策、沿道の文化財・巨木・自然に触れ、午後はバラ公園散策や緑のプラザでどんぐり座の上演等を計画。詳細決定次第チラシ等で広報予定。会員は心づもりを・・・

 会員 池田孝司さんは去る5月21日ご逝去されました。謹んでご報告申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

**編集後記** 原稿をご提供くださった皆さんありがとうございました。おかげさまで担当第2弾目も無事期日に発行できました。少し遅れ気味の梅雨も例年以上の被害をあちこちに及ぼして、ようやくあがりました。地球温暖化がもたらす異常気象、環境問題のボランティア活動も気が抜けません。夏本番、子供達は夏休み、事故のないよう、「楽しかった」が1つでも多く残るよう過ごしてほしいものです。そんな1つに我々のボランティアも役立ちたいものです。秋には楽しいバス研修旅行があります。今担当でどこに行こうか検討中。乞うご期待! MG